

## 環境報告書 2018 について

鉄道・運輸機構(JR TT)では、環境保全に対する基本姿勢や環境分野に係る取組みについて多くの方々にご理解いただくため、平成17年度から環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律(平成16年法律第77号)に基づく環境報告書を作成しています。

つきましては、平成29年度における当機構の環境負荷の状況、環境配慮の取組み状況や環境行動計画等を盛り込んだ「環境報告書2018」を作成しましたので、お知らせ致します。

なお、概要につきましては、次項の環境報告書2018(概要)をご覧くださいとともに、本文につきましては、<http://www.jr-tt.go.jp/01Organization/Csr/csr-kankyo.html> をご覧ください。

<本件に関するお問合せ先>

鉄道・運輸機構 企画部企画課 TEL 045-222-9030

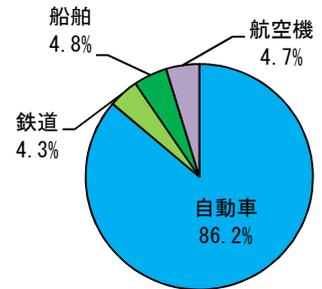
# 環境報告書 2018（概要）



## 事務・事業に係る環境配慮への取組み（P7～16）

地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の国内排出量のうち、運輸部門は全体の約2割を占めている。運輸部門の内訳では自動車が86.2%と大部を占め、機構が整備に貢献する環境にやさしい交通体系である船舶は4.8%、鉄道は4.3%と占める割合は僅かである。

※ 国土交通省総合政策局環境政策課 HP 公表資料に基づき作成。



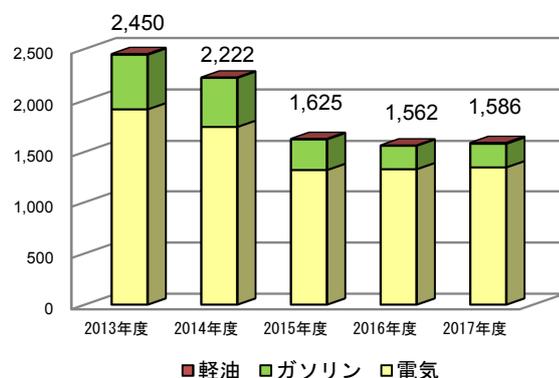
また、都市鉄道利便増進事業（神奈川東部方面線）の建設にあたり、2017年度に事業費調達の手段として発行した債券が、環境省のグリーンボンドガイドラインに適合すると認められ、独法として初のグリーンボンドの発行。

1. 地球温暖化対策： CO<sub>2</sub>の排出量削減のため、トンネル掘削土のベルトコンベア方式による坑外への運搬、国産木材の循環的利用、駅舎のダウンライトのLED化、ソーラーパネルの設置及びガラス素材による自然光の取入れ（写真）等を実施。
2. 建築廃棄物対策： 廃材となったコンクリート塊を破砕して生成される再生砕石（写真）、アスファルトコンクリート発生材を再資源化した再生加熱アスファルト混合物を工事において積極的に利用。
3. 工事排水と掘削土の適切な処理： 工事排水の濁水処理設備（写真）による排水基準への適合処理、掘削土を他の工区の盛土材に流用。
4. 生物多様性の保存： 工事等の生物多様性への影響について、あらかじめ調査・評価等を行い、必要な環境保全措置を講じ、工事中・工事後の事後評価を実施。
5. 土地処分に伴う特定有害物質への対応： 旧国鉄から承継し処分した土地において、基準値を超える特定有害物質がある場合には、適切な処理を実施。
6. 事務に関する環境負荷低減の取組み
  - (1) 環境負荷低減の推進体制として、環境への取組事項を計画的かつ効果的に実施するための先導役として各職場に「エコリーダー」を設置、会議を開催（写真）。また、本社と地方機関による環境行動計画の実施状況を点検するため、「環境行動計画推進会議」を開催。

(2) 具体的な取組内容として、昼休み時間帯の照明の消灯・パソコン電源オフについて社内放送による呼びかけを実施。月1回程度、終業後に担当職員がパソコンの電源オフを見回るエコトップ巡回等を実施。

(3) オフィス活動におけるCO<sub>2</sub>排出量は、1,586 t-CO<sub>2</sub>（前年度とほぼ同等）。

イントラネット及び電子メールを活用した周知・連絡の実施等によりコピー用紙の使用量は、前年度に比べ約37万枚減少。再利用・再生利用の取組みの推進により廃棄物排出量は、前年度に比べ約14t減少。



(4) グリーン調達を推進し、物品関係15分野116品目、公共工事関係1分野13品目で調達率100%を達成。

(5) フロン排出抑制法に基づき、第一種特定製品であるエアコンディショナー、冷蔵冷凍機等について設置、管理及び廃棄を適切に実施。

### 環境に関する情報発信と社会貢献活動 (P17~19)

環境にやさしい交通体系の理解、地域社会とのパートナーシップを構築のため、関係行事への参加や現場見学会等の開催、地域の環境保全活動へ協力した。

- 「第24回鉄道フェスティバル」(10月7日~8日)(写真)、「鉄道の日フェスティバル in 北海道」(10月7日)において機構のブースを出展し、機構の業務、環境への取組みをPRした。



- 環境負荷低減等に資する船舶技術の普及に係る「内航船舶技術支援セミナー」(全国5箇所)、CO<sub>2</sub>削減効果のより高い船舶等の建造促進を図る「共有建造支援セミナー」(全国7箇所。写真)で開催した。



- 新北陸トンネルの工事現場見学会(10月13日)、神奈川東部方面線羽沢トンネル(仮称)の社会見学会(8月17日~18日。写真)、九州新幹線竹松高架橋の見学会(11月19日)へ協力した。



- ライトダウンキャンペーン、打ち水大作戦 2017@よこはまへの参加(写真)、かながわクリーン運動への協力として本社周辺の清掃活動の実施により地域の活性化、環境美化に貢献した。



(注) 当該概要では、「鉄道・運輸機構の概要」等報告書の一部について記載を省略しています。